

2021年8月実績概要（メモ）

（2021.9.22）

誘導品の生産は、前年比はもとより、前月に対しても増産品目が多めとなる。

1. 生産動向

イ) エチレン 515,900トン

前月比 +6.6% (+32,100トン)

前年同月比 ▲5.1% (▲27,900トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	-	-
定修要因等	+ 7.6%	▲ 5.8%
能力増減	-	-
稼働率変動	▲ 1.0%	+ 0.7%
生産増減率	+ 6.6%	▲ 5.1%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.3%* → 当月92.5% ← 前年同月91.8%

定修プラント：前月 2社2プラント → 当月 1社1プラント ← なし

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、稼働率要因や定修規模差等から、LDPE、PP、SM、塩ビモノマー、EO、EG、AN、SBR、BR、ベンゼン、キシレンなどの13品目がプラス。HDPE、塩ビ樹脂、MMAモノマーなどの4品目は稼働率要因他からマイナスとなった。

前年比でも、同様に稼働率要因や定修規模差等からLDPE、PS、SM、EO、AN、SBR、BR、トルエンなどの13品目がプラス。HDPE、MMAモノマーなどの4品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LDPE、HDPE、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、稼働率要因からLDPEは大幅なプラス。逆にHDPEは稼働率要因からマイナスとなった。PPは定修規模の縮小と稼働率要因からプラス、PSは定修規模が縮小し微増となった。

前年比では、稼働率の上昇を主因として、LDPE、PP、PSでプラス。HDPEのみがマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比は、夏季休暇に伴うユーザー側の稼働日数の減少に加えて、緊急事態宣言地域の拡大に伴う移動自粛等の影響があった中、汎用樹脂の出荷は、LDPE、HDPEでは前月まで2カ月連続して前月を上回る出荷が続いてきたが、当月はマイナスに転じ、PP、PSとともに4樹脂でマイナスとなった。

前年比は、LDPE、PP、PSで前年を上回り、HDPEは微減となった。分野別の出荷状況としてはLDPE、HDPE、PPのフィルム分野が前年の出荷を上回るも、これ以外の射出成形分野、中空成形分野等の工業用途関連の分野では、前年を下回るが状況が見られている。PSは前年の出荷が低調だったこともあり各出荷分野とも概ねプラスとなった。

ハ) 輸出

前月比では、主要輸出先である中国の工業生産やサービス関連でも減速感が見られており、当月はLDPE、HDPE、PPでマイナス。前月に輸出が減少したPSのみはプラスとなった。

前年比でも、一時の増加傾向からの反転が続いており、LDPE、HDPE、PPでマイナス。PSのみはプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、LDPE、HDPE、PP、PSで増加した。在庫率(季節調整済)は前月に対して、LDPE、HDPE、PPで上昇、PSは横ばいとなった。在庫水準としては、LDPE、HDPE、PP、PSともにほぼ適正レベル近辺となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		7月末	8月末
LDPE	+24,100	2.7	3.2
HDPE	+7,200	3.0	3.2
P P	+52,400	2.6	2.8
P S	+13,100	1.4	1.4

以上

前月からの修正を*で付記